

常任委員会レポート

総務産業委員会

「防災工事等の特措法」が制定 ため池の整備について県と調整

令和3年5月10日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

ため池と農業振興について

地理的に鳩山町は比企南丘陵にあり、盆地的な形状をしているため、気温が急上昇することがあります。地質は、粘土質の土壌が多く、水稲、野菜や畜産、花卉などを生産しています。

水稲は、粘土質土壌を活かせれば、食味向上につながるかと考えます。本町では「麦や大豆」を推進しています。

整理番号	ため池名称	所在地
1	赤貫沼	須江字赤貫801-1
2	赤沼大沼	赤沼字石田1433
3	天沼	泉井字天沼563-1
4	石場沼	熊井字石場1285
5	板谷沼	大橋字板谷113
6	海道端沼	奥田字後谷587
7	金谷沼	小用字金谷514
8	ごころく沼	須江字鳥木266
9	小用大沼	小用字大入900-1
10	小用新沼	小用字大峰山1041-3
11	笹山沼	高野倉字笹山396
12	須江大沼	須江字北ヶ谷683-1
13	須江宮ノ沢沼	須江字柳井戸415
14	高野倉新沼	高野倉字新沼300-5
15	鳴井沼	大橋字鳴井882
16	東山沼	熊井字東山1088
17	比砂田沼	奥田字比砂田328
18	二ツ沼	熊井字大久保谷359、360
19	弁天沼	竹本字下宮ノ入1073
20	大豆戸大沼	大豆戸字中丸990
21	大豆戸新沼	大豆戸字沼間1417
22	宮ノ沢沼	奥田字宮ノ前468
23	宮前沼	泉井字宮前403

令和3年度までに調査するため池一覧

野菜や米などの農作物は、土と水がなければ育てることができません。本町における水の調達には、河川流域面積が少なく、降雨に頼らざるを得ない状況で、特に水稲栽培に関しては、毎年の気象状況に大きく左右されます。

昨年度、「防災工事等の特措法」が制定され、県は10年間で整備する計画を立てました。町はこの調査結果により、現在ため池の整備について県と調整しています。

委員からは、3月議会で議決した、ため池工事費6000万円の場所について、などの質疑がありました。

福祉文教委員会

地権者に丁寧な説明を 動きは迅速に

令和3年5月6日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

南比企業跡群国指定史跡化の進捗状況について

平成22年度の、新沼窯跡の第1次調査から始まり、石田遺跡の調査、出土遺物の整理、調査報告書の作成等、出土遺物の検討会等を行い、現在、総括報告書の刊行に向けて取り組んでいます。

特に今年度は、文部科学省への意見具申の前に地権者への説明、同意が必要ですが、コロナ禍で、「地権者全員を集める」とは難しいため、地権者ごとに説明するなど、実施の方法にも工夫をしながら進めたい」等の説明

を受けました。

また、名称の読み方が「みなみひきかまあとぐん」と変更になったとのことです。

次に、出土資料の検討により、2つの成果が得られたとのこと。

1つ目が、「新沼窯跡で焼かれた瓦が、武蔵国分寺のどの建物に供給されていたのかを明らかにすることができた。また、国分寺の造営以前に広域の瓦生産を受注する仕組みがあった」、2つ目は、「南比企業跡群では、関東地方に須臾器を供給するだけでなく、須臾器のつくり方を教えていた」ことだそうです。

委員の質疑から

地権者は、町内28人を
含め45人。
メリットとしては、地

域振興、各種補助が得られること。デメリットとしては、個人の住宅を建てる時に制約を受けることがわかりました。

このため、地権者への説明説得には教育委員会だけでなく、産業環境課、政策財政課等とプロジェクト委員会を立ち上げ、迅速に取り組むべきとの意見がありました。

その他にも「他市町村との連携」や「RESETECとの協議・協力を得て児童・生徒の学習のために、活用していただきたい」等、様々な観点から、質疑・要望が出されました。



鳩山カントリー開発の際の大規模窯跡群調査